

# 人は100Wで生きられる

## LIVING at 100W

### Abstract

Living at 100W is an idea of Takano Masao who is an associate professor of the investigation department of environment in Nagoya University . This idea is that we can live a basic life if we use an average of 100W in one hour , in other words , using an average of 2400W in 24 hours . The way of decreasing our Electric power usage is by geothermal power generation , binary power , solar power and space solar power .

### 1、目的

名古屋大学環境学研究科准教授である高野雅夫氏によって書かれた『人は100Wで生きられる』という本を読み、本当に人は100Wで生きられるのかということについて検証する。

### 2. 方法

まず本の内容を掘り下げるために本の書かれている「100%自然エネルギーで自給自足の町」「エネルギーの地産地消」「小水力発電」などについて調べた。次に本当に100Wで生きられるのか疑問を持ち消費電力の現状や電化製品の消費電力、地球にやさしい大型発電方法を調べた。

### 3. 結果

日本にも自然エネルギーで自給自足をしているところがある。その中の1つに祝島があり、現在「祝島自然エネルギー100%プロジェクト」が行われている。

また、日本の一世帯で1日あたり9600Wで世界の平均電力消費量の3倍である。100Wで生きようとするとな現在の4分の1に抑えなければならない。

大型発電とは地熱発電、バイナリー発電、太陽光発電、宇宙太陽光発電などがある。

### 4. 考察

100Wで生きようすると日本国民全員が現在の4分の1に抑えなければならないことがわかった。これは実質的に不可能であると考え、地球に優しい大型発電方法について調べることにした。

### 5. 結論

個人個人が100Wで生きることは難しいので日本全体または地球規模で大型発電などを行うことで消費電力を抑えることができました。

### \*引用文献

人は100Wで生きられる；高野雅夫

### \*キーワード

100W・自給自足・大型発電方法